



発行所 長野県農業卸商業協同組合
TEL. (026) 228-5730
FAX. (026) 228-5818
定価 1部50円(税込)

今年の病害虫発生の特徴

野菜・花き

病害虫防除所 主任 若林秀忠(東北信担当)
技師 増澤高亨(中南信担当)

本稿は、病害虫防除所で実施している巡回調査の概要について紹介する。

○全般
本年は、4月上旬から高温傾向で、アザミウマ類、アブラムシ類の粘着トラップへの誘殺はやや早かった。

降水量は、年明けから、5月にかけて全般的に多く、特に5月は、各観測地点で平年比約150〜200%を記録した。6月に入ると一転して晴

このため、害虫類は全般的に活動が活発となり、アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類などの微小害虫や、オオタバコガ等のチョウ目害虫、ハモグリバエ類等の発生が多くなる地域でみられた。また、南信を除く調査地点において、ハスモンヨトウのフェロモントラップへの誘殺頭数が、7月下旬以降、平年と比べて多く(図1)、9月以降も高温傾向が続いたこともあり、例年よりも発生しにくい被害が、葉菜類を中心に各地でみられた。

7月下旬以降は、昨年以上の高温となり、8月、9月の月平均気温は観測開始以来1位の値を更新した。

秋季に入ると、秋雨前線や気圧の谷などに起因する曇雨天により、露地栽培を中心に病害の発生がみられた。

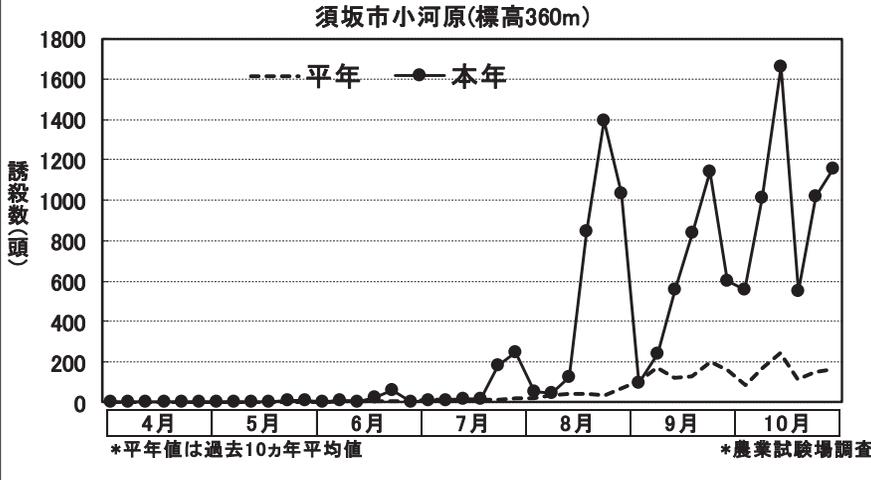
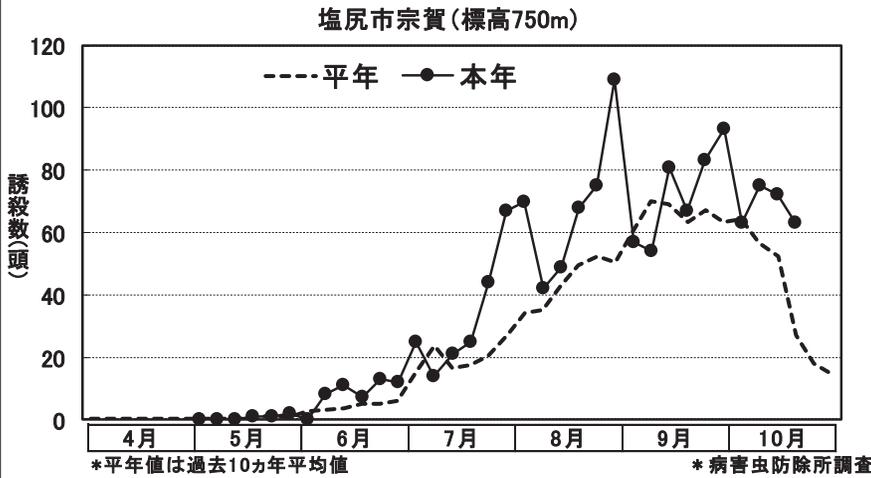


図1 ハスモンヨトウのフェロモントラップへの誘殺状況 (令和6年)

○果菜類

トマトでは、露地栽培・施設栽培(半促成作型)ともに、7月から8月にかけて輪紋病、6月から8月にかけて灰色かび病、葉かび病などがみられた。

露地栽培のきゅうりでは、7月下旬以降、一部の地域でべと病、炭疽病の発生がみられた。施設栽培では、一部の地域で5月上旬の初発以降から、うどんこ病の発生がみられ、9月上旬以降には、べと病、褐斑病の発生もみられた。

【害虫】

5月上旬以降、各地の施設栽培のトマトやきゅうりでアザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類の発生がみられた。また、露地栽培のトマトでは、7月上旬以降にオオタバコガ幼虫による果実食入被害がみられ、施設栽培のきゅうりでは、ワタヘリクロノメイガ(ウリノメイガ)がみられた。

8月に、北信地域のトマト栽培施設の近隣に設置したフェロモントラップに、本県では未確認であったトマトキバガの雄成虫が誘殺され、病害虫発生予察特殊報第2号「トマトキバガ」を発生し、注意喚起された。その後、南信地域のトマト栽培施設においても、本種幼虫によるトマト葉への被害も確認された。

○アブラナ科野菜

キャベツでは、6月下旬以降にべと病、7月上旬以降に黒腐病、7月下旬以降に株腐病が散見された。また、一部地域では7月上旬に菌核病の発生がみられた。黒斑細菌病、軟腐病などの細菌性病害は、少雨の気象条件であったことから、一部

「令和7年長野県農作物病害虫・雑草防除基準」

発行予定：令和7年2月上旬
価格：900円(消費税込み・送料別途)

お問い合わせ：ご注文は、(一社)長野県植物防疫協会
電話026(2)33513510までお願いします。

○たまねぎ

春先の降水量が多かったことから、昨年より早い4月下旬からべと病の発生がみられ、病勢が拡大し収穫期まで発生が続いた地域もあった。また、5月下旬に黒斑病が散見された地域もあった。

【害虫】

キャベツ、ブロッコリーで、コナガが5月下旬以降、ウワバ類が5月上旬以降にみられた。また、9月以降、一部地域では、ハスモンヨトウによる被害がみられた。

○ねぎ

5月下旬以降、アザミウマ類やネギハモグリバエ幼虫の食入が目立つ地域があった。

【害虫】

5月下旬以降からアザミウマ類、ネギハモグリバエ幼虫の寄生が増加し、栽培期間を通してこれらによる被害がみられた。また、夏から秋にかけてはネギコガ、ハスモンヨトウによる食害も一部地域でみられた。

【害虫】

5月上旬からアザミウマ類、アブラムシ類がみられ、寄生株率が平年と比べやや高かった。また、雨よけ栽培では、一部のほ場でハダニ類の発生がみられた。

BASF advertisement for crop protection products including BASF 4 products, PASTA, and SEFINA DC.

Advertisement for STOPIT THE SECOND fertilizer and CLEF-NON fungicide.

Advertisement for ECOMITE acaricide and YOBAL/FLOABUL insecticides.

新しく普及に移す見込みの農業技術

農業技術課 専門技術員 横澤志織

令和6年度第1回普及技術検討会において普及に移される見込みの課題のうち、植物防疫(病害虫防除)に関する技術について概略を紹介する。発刊の都合上、普及技術検討会で検討された情報に沿って記載している。また、表現や文言などは、今後変更される場合があるのでご留意いただきたい。詳細については、長野県農業関係試験場ホームページ(<https://www.agries-nagano.jp/>)に掲載されるので確認していただきたい。

【注意】

本稿に記載されている情報は、普及技術検討会への提案時(2024年9月26日現在)の農薬登録内容に沿っている。本稿掲載後の農薬登録変更等もあり得るので、農薬ラベル記載の適用登録をよく確認し、使用者の責任において適正に使用する。なお、紙面の都合により、各技術の利用上の留意点は記載を省略した。使用にあたっては、上記ホームページにおいて注意事項について必ず確認する。なお、農薬の使用にあたっては、蚕、ミツバチ、天敵等の有用生物や水産動植物への影響や人畜毒性、農作物の薬害等の注意事項も確認し、農薬の危被害防止に努める。また、病害虫の薬剤抵抗性発達を防ぐため、FRACコードやIRACコードを参考に作用機構分類の異なる薬剤をローテーションで使用する。

【技術情報】	
タイトル	技術内容(要約)
主要薬剤の産業用マルチローター(ドローン)によるコムギ赤かび病に対する防除効果	シルバキュアフロアブルの16倍液、トップジンMゾルの8倍液、ミラビスフロアブルの8~16倍液またはワークアップフロアブルの16倍液の開花期1回散布でのドローンによるコムギ赤かび病に対する防除効果は地上散布と同等からやや低い傾向にある。

【農薬情報(殺菌剤)】			
対象作物	対象病害虫・雑草等	農薬名	技術内容(要約)
なし	黒星病、黒斑病	ベランティーフロアブル	ナシ黒星病、ナシ黒斑病防除にベランティーフロアブルの8,000倍液を散布する。本剤は、従来のDMI剤とは異なる構造を持つ新しいDMI剤である。県内ではすでに一部のDMI剤の感受性低下の兆候が認められているため、感受性低下が進行しないよう本剤を含むDMI剤の使用を年2回以内とする。
りんご	黒星病	ベルコート水和剤	リンゴ黒星病防除にベルコート水和剤の1,000倍液を散布する。本剤の黒星病に対する効果は予防効果が主体である。なお、芽出し2週間過ぎから落花後25日頃の使用ではさび果を生じるおそれがあるため、この時期の散布は避ける。
くるみ	褐斑病	ICボルドー66D	クルミ褐斑病防除にICボルドー66Dの50倍液を散布する。
パセリ	うどんこ病	ショウチノスケフロアブル	パセリーうどんこ病防除にショウチノスケフロアブルの2,000倍液を散布する。
キャベツ	株腐病	ファンタジスタ顆粒水和剤	キャベツ株腐病防除に、ファンタジスタ顆粒水和剤の2,000倍液を散布する。
はくさい	黒斑病	ケンジャフロアブル	ハクサイ黒斑病防除に、ケンジャフロアブルの1,500倍液を散布する。
トマト・ミニトマト	かいよう病	クプロシールド	トマト・ミニトマトのかいよう病防除にクプロシールドの1,000倍液を散布する。
パセリ	疫病	ユニフォーム粒剤	パセリー疫病防除にユニフォーム粒剤を10aあたり12kgの割合で株元散布する。
セルリー	疫病	ユニフォーム粒剤	セルリー疫病防除にユニフォーム粒剤を定植時に株あたり2gの割合で株元散布する。

【農薬情報(殺虫剤)】			
対象作物	対象病害虫・雑草等	農薬名	技術内容(要約)
スイートコーン(未成熟とうもろこし)	アワノメイガ	アクセルフロアブル	スイートコーン(未成熟とうもろこし)のアワノメイガ防除にアクセルフロアブルの1,000~2,000倍液を散布する。
りんご	キンモンホソガ	キラップフロアブル	りんごのキンモンホソガ防除にキラップフロアブル1,000倍液を散布する。
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	ミネクトエクストラSC	ぶどうのチャノキイロアザミウマ防除にミネクトエクストラSCの10,000倍液を散布する。蚕に対して長期間毒性があるので、桑園付近では使用しない。本剤はIGR系の殺虫成分を含むため、使用は指定地域に限る。
くり	モモノゴマダラノメイガ	モスピラン顆粒水溶剤	くりのモモノゴマダラノメイガ防除にモスピラン顆粒水溶剤の2,000倍液を散布する。蚕に対して長期間毒性があるので、桑園付近では使用しない。



日本化学株式会社
ファイブセーブ®フロアブル
 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。今回は弊社製品である殺虫剤「ファイブセーブ®フロアブル」をご紹介させて頂きま



◆**特長**
 ・アザミウマ類(ヒラズハナアザミウマを除く)に特効的、サビダニ類にも高い効果。
 ・優れた残効性(2週間程度)、耐雨性を示します。
 ・黄化葉巻病を引き起こす

◆**上手な使い方**
 ・浸透移行性、葉面浸透性が無いため薬剤が十分にかかるとように、ムラなく丁寧に散布してください。
 ・ヒラズハナアザミウマへは効果不足が生じることがあります(特に暖かい時期)。
 ・オンシツコナジラミには登録がありません。

◆**使用の際には表示ラベルを正確に読んでください。**
 ・浸透移行性、葉面浸透性が無いため薬剤が十分にかかるとように、ムラなく丁寧に散布してください。
 ・ヒラズハナアザミウマへは効果不足が生じることがあります(特に暖かい時期)。
 ・オンシツコナジラミには登録がありません。

バココナジラミ(シルバーリーフコナジラミを含む)へも効果を示します。
 ・新規作用機作です。
 ・天敵、有用昆虫に対する影響が少ない薬剤です(ミツバチ、マルハナバチ、カブリダニ等)。
 *ご使用の際には表示ラベルを正確に読んでください。

◆登録内容(令和6年8月28日月現在)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フロメトキンを含む農薬の総使用回数
かんきつ	アザミウマ類 ミカンサビダニ チャノホコリダニ	2000~4000倍	200~700 ℓ /10 a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
マンゴー	アザミウマ類	2000倍	100~300 ℓ /10 a	収穫前日まで	2回以内		2回以内
なす	タバココナジラミ類※	1000倍					3回以内
ピーマン	アザミウマ類	1000~2000倍					2回以内
ししとう		2000倍					2回以内
しょくようほおずき	アザミウマ類	2000倍					2回以内
パジル、にんにく	アザミウマ類	2000倍					2回以内
トマト	アザミウマ類	1000~2000倍					3回以内
ミニトマト	タバココナジラミ類※ トマトサビダニ	1000~4000倍					
すいか、いちご	アザミウマ類	1000~2000倍					2回以内
はくさい	アオムシ	1000倍					
キャベツ	コナガ アザミウマ類	1000~2000倍					2回以内
きく(葉)	アオムシ	1000倍					3回以内
なら、食用きく	アザミウマ類	2000倍					
しそ	アオムシ	1000倍					2回以内
しそ(花穂)	アザミウマ類	1000倍					
ブロッコリー	アオムシ	1000倍	2回以内				
カリフラワー	アザミウマ類	1000倍					
だいこん	コナガ	1000~2000倍	2回以内				
ねぎ	アザミウマ類	2000倍	収穫3日前まで				
わげき	ネギハモグリバエ						
あさつき	アザミウマ類	1000~2000倍	収穫前日まで				
たまねぎ	ネギハモグリバエ						
ほうれんそう	アザミウマ類	1000~2000倍	3回以内				
アスパラガス	アザミウマ類	2000倍	2回以内				
	タバココナジラミ類※	100~800 ℓ /10 a					
みょうが(花穂)	アザミウマ類	1000倍	3回以内	散布 但し、花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する。			
みょうが(茎葉)	アザミウマ類	1000倍	3回以内	みょうが(花穂)の収穫前日まで 但し、花穂を収穫しない場合は開花期終了まで			
茶	チャノホソガ	2000~4000倍	200~400 ℓ /10 a	摘採14日前まで	散布	2回以内	
	チャノキイロアザミウマ	1000~4000倍					
グロリオサ	アザミウマ類	1000倍	100~300 ℓ /10 a	発生初期	2回以内		
ほおずき	アザミウマ類	2000倍					

*シルバーリーフコナジラミを含む

植防短信

農業の適切な保管・在庫管理について

県では十一月十六日から三十日まで、毒物劇物及び農薬危害防止運動を実施しました。
 今回の運動では、毒物劇物及び農薬の適正な保管管理や取扱い、廃棄処分等の徹底とこれらによる事故の発生防止を啓発したところです。
 これから農閑期に入り、農薬保管庫の整理が行われる季節になります。
 農薬使用者に対し、この機会にもう一度農薬の保管状況等の確認を行い、適切な保管管理に努めるよう御指導をお願いいたします。

農薬の保管場所

農薬の保管状況の点検にあたっては、特に以下の点に注意してください。

在庫の確認

適切な保管管理を行うためには、在庫量を把握しておくことも重要です。そのため、

雑草のはなし

ナガエツルノゲイトウ

ナガエツルノゲイトウは、南米原産のヒユ科の多年生雑草で、「地球上最悪の侵略的植」と言われ、特定外来生物に指定されています。現在、東北以南の26都府県において発生が確認されています。令和6年8月には福島県で初めて確認され、病害虫発生予察情報の特報が発表されましたが、雑草の特報は全国初のケースであり、テレビや新聞でも大きく取り上げられました。

生感

「地球上最悪」と言われる理由は、数センチ程度の断片からも発根、萌芽し(図2)、簡単に再生する強い繁殖力と水陸両生で水路や水田、畑地でも生育し、耐塩性も高いなど、生息環境を選ばないことによるものです。

国内では種子繁殖は確認されておらず、断片からの栄養繁殖により生育範囲が拡大しています。春から夏にかけて、茎の断面から水田への侵入防止のため、水田にネットを張る。③水田内はナガエツルノゲイトウに有効な除草剤を散布する。④湖沼や水路などの水利施設で

以下の点に留意が必要です。
 ①在庫帳を備えて、農薬の購入時や使用時に、しっかりと記録する。また、計画的に購入・使用し、使い切るように努める。
 ②在庫は定期的に数量および有効年月を確認し、期限切れの農薬がでるだけ出ないようにする。
 ③万が一、在庫にズレがあるなど盗難等の疑いがある場合は速やかに警察に届出を行う。不要になった農薬は、その意が求められます。
 ①農薬は鍵のかかる場所に保管されているか。
 ②毒物・劇物の農薬は、他の農薬とは別に保管し、定められた表示がされているか。
 ③保管時に特別に注意が必要な農薬は、ラベルに表示されている方法で保管されているか。
 なお、保管にあたっては、薬剤や容器の劣化を防ぐため、直射日光の当たらない冷暗な場所が適します。また、地震への備えとして、棚の転倒防止や、容器の転倒・落下による流出防止のために穴のないトレイに入れるなど流出対策をし、液体の農薬は下段に置くことも重要です。

日産化学の水稲用除草剤ラインナップ

ビエの残効に優れる、初中期一発剤

天空 1キロ粒剤フロアブル/ジャンボ/エア一発剤

アルテア最大量10g配合 新しい初中期一発剤

流星 1キロ粒剤/フロアブル/ジャンボ

問題雑草に効く、プレミアムな中後期剤

グパード 1キロ粒剤/ジャンボ/エア一発剤

雨にも強い、中後期用の茎葉散布処理剤

アレイルSC

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
 ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
 お客様窓口 TEL.03-4463-8271(9:00~17:30 土日祝除く)

片などから萌芽し、匍匐茎が長さ1m以上に伸長します。各節から分枝し、茎の中が中空であるため浮きやすく、水面上を伸長して、水路などを埋め尽くします。

◆**発生地域での基本的な対策事例**

関東地方の多発県では、農業用水を含めた水系を介して生息範囲が拡大しています。そのため、①発生している地域の畦畔などでは、刈り払い機による刈払いを禁止して、除草剤や除草シートなどで断片の飛散防止を図る。②断片の水田への侵入防止のため、水田にネットを張る。③水田内はナガエツルノゲイトウに有効な除草剤を散布する。④湖沼や水路などの水利施設で



「怪しい」と思われる事例がありましたらお近くの農業農村支援センターや農業試験場へご一報ください。(画像は全て作物部職員が関東地方で開催された研修会において撮影したものです。)

(農業試験場作物部 宮原薫)

表1 令和6年6月1日～7月15日までのAMeDAS(アメダス)データによる葉いもち感染好適条件(●)の出現数

Table with 7 columns: 地域, 6/1~6/30 (本年, 平年, 平年比(%)), 7/1~7/15 (本年, 平年, 平年比(%)). Rows include 東信(5), 南信(8), 中信(9), 北信(5), 全県(27).

注) 地域の() 数字はAMeDAS観測地点数。平年とは、過去10年間(平成26年～令和5年)の平均値。

表2 AMeDAS(アメダス)データによる葉いもち感染好適条件の出現状況(令和6年)

Large grid table showing infection status (●, ○, -) for various locations (野沢温泉, 信濃町, 飯山, etc.) from July 1st to 18th.

●: 感染好適条件 ○: 準感染好適条件 (感染好適条件にやや満たないもの) -: 感染好適条件なし ? : 判定不能 ※BLASTAMの判定結果は、JPP-NET(一般社団法人日本植物防疫協会)から引用。 ※表中の地点名はAMeDAS観測所の所在地。

今年の病害虫発生の特徴

水稲・普通作物

病害虫防除所 担当係長 藤沢喜一(東北信担当) 主任 内田英史(中南信担当)

【水稲】 ○イネいもち病 7月上旬の巡回調査では、葉いもちの発生はほとんど見られなかったが、アメダスデータを用いた葉いもち感染好適条件の判定(BLASTAM)では、7月上旬以降感染好適条件を示す日数が多くなり、また7月中旬以降、各地で葉いもちの発生がみられ一部

のほ場では発病株率が急増した。そのため、7月19日に全県を対象に病害虫発生予察注意報第2号(イネいもち病)を公表し、注意喚起をした。その後、7月下旬の巡回調査で

の巡回調査では、発生地点率、発病株率ともに、東信地域が平年と比べ高かった。9月の発生地点率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ高く、発病株率は東信地域で平年と比べ高かった。

は、発病株が急増し、発生地点率は東信地域が100%、北信地域が82.4%と平年と比べ高く、また発病株率も平年と比べかなり高かった。9月の調査では、穂いもちの発生地点率は全県的に平年と比べ高く、特に東信地域、北信地域の一部ほ場では穂いもちの発生が目立った。

ため、令和元年以降発生が継続している。特に東信地域、北信地域の一部ほ場で8月下旬以降発病が確認され、発生地点率は、平年と比べ高く、また発病株率も平年と比べやや高かった。

本病は、ヒメトビウンカに発病株を吸汁し、病原ウィルスを保菌したヒメトビウンカにより他の株へ媒介される。また、ウィルスを獲得した保毒虫は、次世代にも伝搬する

4月の睡眠すくい取り調査での捕獲地点率は、全体的にほぼ平年並、捕獲頭数は平年と比べ少なかった。7月下旬から9月上旬の本田のすくい取り調査では、捕獲頭数は東信地域が平年並、他の地域は平年と比べ少なく、全体的には平年と比べ少なかった。

本病は、ヒメトビウンカに発病株を吸汁し、病原ウィルスを保菌したヒメトビウンカにより他の株へ媒介される。また、ウィルスを獲得した保毒虫は、次世代にも伝搬する

ムギ赤かび病感染予測システムでは、6月初旬までコムギ赤かび病に感染する好適条件日、準感染好適条件日が出現し、また気象庁の1か月予報(5月30日)では、気温は今後平年並で、今後も赤かび病の感染に適した気象条件が続くと予想されたため、6月3日に「病害虫発生予察注意報第1号(コムギ赤かび病)」を公表し、注意喚起をした。

今年度の巡回調査では、赤かび病の発生はほとんどみられなかったが、6月中旬以降、南信地域の一部ほ場でコムギ赤かび病が多くみられた。

9月中旬の巡回調査では、東信地域、北信地域では、発生数は平年と比べ多かった。また、南信地域では巡回調査地点以外のほ場でもカメムシ類の発生が多くみられた。主要種は、「ホンヘリカメムシ」「イチモンジカメムシ」「ブチヒゲカメムシ」であった。

9月上旬の巡回調査では、イチモンジセセリ(イネネットムシ)による被害「つと」が北信地域でみられたが、他の地域はみられなかった。

9月中旬の巡回調査では、東信地域、北信地域では、発生数は平年と比べ多かった。また、南信地域では巡回調査地点以外のほ場でもカメムシ類の発生が多くみられた。主要種は、「ホンヘリカメムシ」「イチモンジカメムシ」「ブチヒゲカメムシ」であった。

今年度の巡回調査では、赤かび病は、6月上旬の巡回調査で東信地域、北信地域の一部ほ場で発生がみられたが、発病度は平年と比べ低かった。なお、南信地域、中信地域では、発生はみられなかった。

6月下旬の巡回調査における斑点米カメムシ類の捕獲頭数は、平年と比べ少なく、発生地点率は、北信地域では平年と比べて高かったものの、全般的には平年並であった。7月の巡回調査では、全体的に発生地点率が高く、捕獲頭数についても平年と比べ高かった。

特に、南信地域での7月下旬での発生地点率、捕獲頭数は、平年と比べかなり多かった(捕獲頭数平年比351%)。また、中信地域でも平年と比べ多かった。さらに、気象庁の1か月予報(7月25日発表)では、気温が高いと予想されたため、斑点米カメムシ

近年、東信の一部の地域で発生が多くみられるが、他の地域ではほとんどみられていない。9月上中旬の巡回調査では、「ニカメイチュウ」による白穂率及び白穂発生地点率は、東信地域で平年と比べて高かった。フェロモントラップ及び予察灯による誘殺消長調査では、越冬世代成虫(第1世代)の発生時期は平年と比べやや早かったが、発生数はほぼ平年並であった。

今年度の巡回調査では、赤かび病は、6月上旬の巡回調査で東信地域、北信地域の一部ほ場で発生がみられたが、発病度は平年と比べ低かった。なお、南信地域、中信地域では、発生はみられなかった。

今年度の巡回調査では、赤かび病は、6月上旬の巡回調査で東信地域、北信地域の一部ほ場で発生がみられたが、発病度は平年と比べ低かった。なお、南信地域、中信地域では、発生はみられなかった。

Advertisement for various pesticides including 殺虫剤, 殺菌剤, 殺虫殺菌剤, and 水稲用除草剤.

Advertisement for Sankei Chemical Co., Ltd. products: サンクリスタル乳剤, ジーファイン水和剤, ブレイクスルー, マイキラー・ナメグリーン3.

Advertisement for Mitsuhashi Soda products: ムッシュポルター DF, 銅水和剤, featuring a character illustration.